

安全に活動いただくための留意点について

日頃より横浜子育てサポートシステム事業に御理解・御協力をいただき、ありがとうございます。

本事業は、大切なお子さんの命や健康を預かるという事業の性質上、ひとつ間違えれば、お子さんが怪我をするような事故・事件等が発生してしまう可能性があります。また、会員同士が互いに「相手のため、子どものためを思って行動したこと」であっても、ルールに沿わない活動をしたことにより、取返しのつかない、重大な事案に繋がってしまう場合もあります。

会員の種別を問わず、全ての会員の皆様に、日ごろの活動を振り返っていただくために、下記のとおり「安全な活動のために特に重要なルール」をまとめております。お役立てくださいますようよろしくお願いいたします。

*横浜市地域子育て支援拠点サイト 会員向けページ
「会員の手引き」(P.11)【安全チェックリスト】もご参照ください。



| | |
|-------------|--|
| 1 事前打ち合わせの時 | |
| ア | <p>具体的な活動内容や、活動に必要な情報を、利用会員と提供・両方会員で確認する。</p> <p>*活動に関係する場所や人、移動方法、お子さんに関する情報（アレルギーの有無など）、緊急の場合の対応や連絡先などについて、実際の活動を具体的に想定し、詳細を確認してください。</p> |
| 2 活動当日 | |
| ア | <p>必ず、「大人から大人へ」子どもを安全・確実に受け渡す。</p> <p>*「駅でお子さんがひとりで待っていて、提供・両方会員が迎えに行く」等の活動は、万が一、提供・両方会員がお子さんと合流する前に災害が起きた場合、お子さんの安全確保が難しくなる可能性が高まるだけでなく、思わぬ事件に巻き込まれることにもつながりかねません。</p> |
| イ | <p>事前打合せで確認した内容以外の活動や行動はしない、求めない。</p> <p>《考えられる事案の例 ①》 事前打合せでは徒歩移動することになっていたが、活動中、子どもがバスに乗りたがった。提供会員は、子どもが喜ぶだろうと思い、利用会員に確認しないまま、バスで移動したところ、交通事故に巻き込まれ、提供会員も子どもも大怪我をした。</p> <p>《考えられる事案の例 ②》 活動直前に提供会員に用事ができた。提供会員は、活動をキャンセルすると利用会員が困るだろうと思い、利用会員に連絡せず、子ども好きな知人に、自分に代わって活動するよう依頼した。しかし知人は、子どもに食物アレルギーがあることを知らずにおやつを食べさせ、アレルギー反応がでた。</p> <p>《考えられる事案の例 ③》 学校から習い事への送迎を依頼されていたが、活動の直前に利用会員から提供会員に電話があり、急遽、同じ学校に通う、依頼にないきょうだい児の預かりもお願いされ、たいへん困った。</p> |
| ウ | <p>活動中に、急遽、事前打合せで確認していない対応が必要となった場合は、その場ですぐに、提供・両方会員から利用会員に連絡し、承諾を得る。</p> <p>*利用会員に連絡がつかない場合は、区支部事務局（閉館時は区支部緊急連絡先）に連絡してください。</p> |
| エ | <p>活動中に事故、事件があった場合は、すぐに区支部事務局（閉館時は区支部緊急連絡先）に連絡する。</p> <p>*活動の際、区支部事務局の電話番号を常に控えておくなど、すぐに連絡できるよう工夫してください。</p> |
| 3 その他 | |
| ア | <p>発熱や具合の悪いお子さんの預かりや送迎はできない。</p> <p>*大人とは違い、子どもは体温調整が難しいです。お子さんの体調が優れない前兆などを感じ取った場合は、安全に活動するためにも早めの判断をお願いします。</p> |